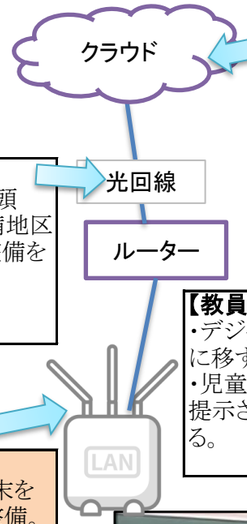
1人1台端末化が実現した教室のイメージ（通常の授業）

令和3年3月29日
令和2年度第1回総合教育会議
資料４



【クラウド】
・ChromebookではGoogleクラウドを利用
・基本的にデータはクラウド上に保存
・教育支援ソフトやオフィスのソフトについても、クラウド上で提供されるサービスを利用する
・クラウド上にデータやサービスは、学校内だけではなく、家庭でもIDを使ってログインすることで利用可能。
・フィルタリングもクラウド上のサービスを利用

【農村部の光回線整備】
・GIGAスクール構想の実現も念頭に、高速大容量通信設備未整備地区への民間事業者による光回線整備を支援
※総務部担当

【教員用端末】
・デジタル教科書、デジタル教材などを提示装置に移すために活用。
・児童生徒の端末の画面を教員用端末を経由して提示させるなど、児童・生徒の発表にも活用できる。

【大型提示装置】
・教員用端末や実物投影機と接続
・デジタル教材や実物投影機の画像を表示させ、視覚的にわかりやすい授業を実現
・指導者用デジタル教科書も大型提示装置に提示し、教科書の拡大や、動画等を提示

【指導者用デジタル教科書】
・教員用端末にインストールし、教科書の一部分を拡大し提示したり、関連する動画や音声を表示するなどし、視覚・聴覚などからの情報により児童生徒の理解が進みやすい授業を可能にする
・付属するデジタル教材の活用により、教員の教材準備の負担軽減にもつながることを期待
・小6、算数の利活用の状況を踏まえ、次回の教科書改定時に向け導入学年・科目の拡大を検討する。

※国では、次期教科書改定時での学習者用デジタル教科書（児童生徒の端末で利用し、紙の教科書の代替となり得るもの）の利用拡大を検討中。

【校内ネットワーク（Wi-Fi）】
・普通教室において、1人1台端末を運用可能なネットワーク環境を整備。
・職員室及び特別教室（理科室）への拡大を検討中（12月 補正を想定）
・将来的には、体育館等を含む校舎内全体への整備を目指す。
（避難所としての利用も念頭に置いた措置）

【充電保管庫】
・児童生徒用端末を保管・充電する機能を有する保管庫。
・使用しない際は基本的にここに保管し施錠。

【ICT支援業務（ICT支援員）】
・学校におけるICT機器のトラブルへの初期対応、教員のデジタル教材作成の支援、授業における児童生徒の端末操作の支援などを担う。
・国の計画では、4校に1人配置することとされている。
・民間業者委託を基本に今後具体的な業務内容・実施手法を検討。
※GIGAスクール構想関係だけではなく、PC教室端末、校務系端末等も含めた教育用ICT運用支援業務とすることを想定。

【実物投影機】
・教員の手元を拡大して大型提示装置に提示し、書道や裁縫などの実技を大きく表示させる。
・児童生徒のノートや作品等を拡大して表示させ、発表用に活用する。

【児童生徒用端末】
・1人1台整備
・クラウドを前提とした端末であり、データはクラウドに保存。
・個別端末にソフトウェアをインストールせずに、WEBブラウザでクラウド上のサービスを利用する。
・教員用端末や提示装置と同じ画面を表示させたり、個別に教育支援ソフトを活用したドリル・問題集等の活用を図る
・調べ学習での利用（デジタル教材・インターネットを活用）
・電子書籍の利用（電子書籍の特徴を活かした調べ学習・朝読書・並行読書等）（図書館との連携）